

## 第二種奨学金の継続貸与(休学中の学生対象)

現在、第二種奨学金の貸与を受けている方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を機に、令和4年度中に休学しボランティアに参加する等の活動を行う方で、大学がその休学期間の活動が有意義であると認めた場合、休学中も貸与を最大1年間受けることができます。希望する方は必要書類を学生支援課に提出してください。

### 申請書類配布期間

2022年10月3日(月)まで

### 対象者

学部及び大学院に在学する休学中の学生

※留学生、留年生、科目等履修生、研究生は除く

### 要件

①～③の要件をすべて満たす方が対象

①令和4年度中に第二種奨学金の貸与を受けていること

②新型コロナウイルス感染症拡大の影響を機に、令和4年度中に休学し、ボランティアに参加する等(学びの複線化)の活動を行う方

③上記②の休学期間の活動が有意義(※)であること、及び奨学金貸与の必要性を大学が認めた場合

※「社会的貢献活動」「専攻分野のプラスになる」「自己の人間形成に役立つ」等の有意義であると認められる活動

### 貸与期間

活動を開始した月から最大1年間

※当該休学期間における活動開始年月が2022年4月～2023年3月に限る

### 必要書類

- ・休学時奨学金継続願
- ・ボランティア活動証明書

### 申請書類提出締切日

2022年10月7日(月)必着

[ 様式 ]

# 休学時奨学金継続願

第二種奨学金のみ

【学籍上の身分が「休学」「留学」「在学」を除くの場合のみ提出可能】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり休学期間中に活動しますので、引き続き奨学金の貸与をお願いします。

## ■ 奨学生記入欄 (記入必須)

在籍学校名	届出年月日	20	年	月	日
	生年月日		年	月	日
学部・学科(課程・研究科)	学籍番号				
	フリガナ				
学 年	年	氏名(自署)			
奨学生番号 (現在貸与を受けている <b>第二種奨学金</b> の奨学生番号を記入)					
第二種	8			0	
活動先(団体名等)					
ボランティアに参加する等(学 びの複線化)の活動期間	20	年	月	～	20
活動内容 (該当を☑で選択、複数選択可)	<input type="checkbox"/> 社会的貢献活動 <input type="checkbox"/> 専攻分野に資する活動 <input type="checkbox"/> 自己の人間形成に役立つ活動				
活動内容詳細					

※ 継続貸与期間は最大で1年間とします。

※ 活動期間終了後(または活動開始年月から1年経過後)に引き続き休学している場合は、奨学金の振込みが止まります。活動期間が延長になった場合や休学期間が短縮になった場合は、学校に申し出てください。

※ 活動開始年月が2022年4月～9月の者が対象です。(2021年度から休学し2022年度も継続して当該活動を行っている者も申請可能ですが、その場合、2022年4月分からの振込再開(復活)となります。)

## ■ 学校記入欄 (記入必須)

休学期間	20 年 月 日 ～ 20 年 月 日			
返還誓約書機構提出 (該当を☑で選択)	<input type="checkbox"/> 提出済み	<input type="checkbox"/> 提出予定	卒業予定年月	20 年 月 日
学校長承認	<input type="checkbox"/> 上記の活動について学校長が教育上有益と認めている			

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名

関係課長(※)

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
— — ( )	⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	⋮

※証明者は課長相当職以上の方としてください。なお、職印の押印は必要ありません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(22.4)

提出先 異動・補導係	郵送の要否 郵送必要	スカラAC入力 入力不可
---------------	---------------	-----------------

[ 様式 ]

# 休学時奨学金継続願

第二種奨学金のみ

【学籍上の身分が「休学」「留学」「在学」を除くの場合のみ提出可能】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり休学期間中に活動しますので、引き続き奨学金の貸与をお願いします。

## ■ 奨学生記入欄 (記入必須)

在籍学校名	届出年月日	20	年	月	日
	生年月日		年	月	日
学部・学科(課程・研究科)	学籍番号				
	フリガナ				
学 年	年	氏名(自署)			
奨学生番号 (現在貸与を受けている <b>第二種奨学金</b> の奨学生番号を記入)					
第二種	8			0	
活動先(団体名等)					
ボランティアに参加する等(学びの複線化)の活動期間	20	年	月	～	20
活動内容 (該当を☑で選択、複数選択可)	<input type="checkbox"/> 社会的貢献活動 <input type="checkbox"/> 専攻分野に資する活動 <input type="checkbox"/> 自己の人間形成に役立つ活動				
活動内容詳細	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を機に休学し、活動(具体的に記載)を行うこと 奨学金が必要であること を記載する。				

※ 継続貸与期間は最大で1年間とします。

※ 活動期間終了後(または活動開始年月から1年経過後)に引き続き休学している場合は、奨学金の振込みが止まります。活動期間が延長になった場合や休学期間が短縮になった場合は、学校に申し出てください。

※ 活動開始年月が2022年4月～9月の者が対象です。(2021年度から休学し2022年度も継続して当該活動を行っている者も申請可能ですが、その場合、2022年4月分からの振込再開(復活)となります。)

## ■ 学校記入欄 (記入必須)

休学期間	20 年 月 日 ～ 20 年 月 日				
返還誓約書機構提出 (該当を☑で選択)	<input type="checkbox"/> 提出済み	<input type="checkbox"/> 提出予定	卒業予定年月	20	年 月 日
学校長承認	<input type="checkbox"/> 上記の活動について学校長が教育上有益と認めている				

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名

関係課長(※)

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
— — ( )	⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	⋮

※証明者は課長相当職以上の方としてください。なお、職印の押印は必要ありません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(22.4)

提出先 異動・補導係	郵送の要否 郵送必要	スカラAC入力 入力不可
---------------	---------------	-----------------